

2013年11月26日

有限会社 エイコー産業 様

---

---

# 実験報告書

---

---

株式会社イムテス環境事業部  
TEL(0596)65-7711 FAX(0596)65-7717  
登録衛生検査所 三重県第37号  
株式会社イムテス伊勢総合臨床検査センター  
三重県伊勢市小木町12-1



責任者	担当者

受付日 2013年11月12日

試験内容 供試薬液における殺菌効果比較試験

対象商品名 ステリクリーン（使用時に0.5%溶液に調製）

実験内容 I. 菌液の調整

供試菌

E.coli（大腸菌）

Staphylococcus aureus（黄色ブドウ球菌）

MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）

Pseudomonas aeruginosa（緑膿菌）

Salmonella enteritidis（サルモネラ属菌）※全て臨床株

保存菌株（-80℃）のマイクロチップを標準寒天培地に接種後 37℃18~20時間培養。

1ml菌液を作製し、滅菌精製水を入れて10mlにし、3000rpm、10分間を3回行う。

洗浄菌株をMcfaland濁度標準0.1程度に菌液を作製し、濁度を測定する。

II. 手順 1.対象薬液と対照区を設け、試験管を各1本用意する。

2.各試験管内に対象薬液を、対照区には滅菌生理食塩水を10mlずつ分注する。

3.試験管にそれぞれ供試菌液を10分の1量となるように各1ml接種する。

4.接種後、30秒、2分、5分、10分間接触させ供試菌ごとに最適な寒天培地を選択(表1)し、供試菌の菌数を測定する。

表1 各菌種において使用する寒天培地

供試菌	寒天培地名
E.coli 大腸菌	デソキシコレート寒天培地
Staphylococcus aureus 黄色ブドウ球菌	卵黄化マンニット食塩寒天培地
MRSA メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	卵黄化マンニット食塩寒天培地
Salmonella enteritidis: サルモネラ属菌	DHL寒天培地
Pseudomonas aeruginosa 緑膿菌	セトリミド寒天培地

結果

供試菌名	接触時間							
	30sec		2min		5min		10min	
	対照	ステリクリーン	対照	ステリクリーン	対照	ステリクリーン	対照	ステリクリーン
大腸菌	$6.2 \times 10^6$	0	$1.6 \times 10^6$	0	$1.3 \times 10^6$	0	$1.4 \times 10^6$	0
黄色ブドウ球菌	$4.2 \times 10^5$	0	$7.0 \times 10^5$	0	$3.8 \times 10^5$	0	$3.6 \times 10^5$	0
MRSA	$3.9 \times 10^5$	0	$3.5 \times 10^5$	0	$3.8 \times 10^5$	0	$3.3 \times 10^5$	0
サルモネラ属菌	$4.4 \times 10^6$	0	$2.0 \times 10^6$	0	$1.4 \times 10^6$	0	$1.1 \times 10^6$	0
緑膿菌	$1.1 \times 10^6$	0	$1.2 \times 10^6$	0	$1.3 \times 10^6$	0	$1.3 \times 10^6$	0

結果について 全ての菌種及び条件においてステリクリーンは微生物の成育が認められず、殺菌効果が得られている。